令和2年第2回甲良町議会臨時会会議録

令和2年3月30日（月曜日）

◎本日の会議に付した事件（議事日程）

- 第1 会議録署名議員の指名
第2 会期の決定
第3 議案第24号 令和元年度甲良町一般会計補正予算（第7号）
第4 議案第25号 令和2年度甲良町一般会計予算
発議第8号 議案第25号 令和2年度甲良町一般会計予算に対する修正（案）
第5 発議第9号 令和2年度甲良町一般会計予算の執行に関する付帯決議について

◎会議に出席した議員（12名）

1番	小森正彦	2番	岡田隆行
3番	山田充	4番	山田裕康
5番	野瀬欣廣	6番	宮寄光一
7番	丸山恵二	8番	木村修
9番	建部孝夫	10番	大町善士雄
11番	西澤伸明	12番	阪東佐智男

◎会議に欠席した議員

なし

◎会議に出席した説明員

町長	野瀬喜久男	教育長	松田嘉一
総務課長	中川雅博	教育次長	福原猛
会計管理者	宮川哲郎	学校教育課長	上橋純子
税務課長	西村克英	社会教育課長	大野けい子
企画監理課長	村岸勉	建設水道課長	北坂仁
住民課長	小林千春	人権課長	丸澤俊之
保健福祉課長	米田志保子	総務課参事	上田真司
産業課長	中村康之	建設水道課参事	丸山正

◎議場に出席した事務局職員

事務局長 橋本浩美

書

記

白波瀬

愛

(午前 9時45分 開会)

○**阪東議長** ただいまの出席議員数は11人です。

議員定足数に達していますので、令和2年第2回甲良町議会臨時会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、既に配布しているとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員に、9番 建部議員、10番 大町議員を指名します。

次に、日程第2 会期の決定について議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間としたいと思いますが、これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**阪東議長** 異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日1日間と決定しました。

これより、町長の挨拶、行政報告ならびに提案説明を求めます。

町長。

○**野瀬町長** 本日、令和2年甲良町議会第2回臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変ご多用の中、ご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。日頃は行政全般にわたりまして格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

提案説明の前に行政報告をさせていただきます。近江鉄道についてでございます。

近江鉄道線は、120年以上にわたり、滋賀県の東部地域における基幹交通として、沿線住民の通勤・通学や観光等で地域を訪れる人々の移動手段ありますが、平成6年度から経営状況の悪化が続いて事業継続が困難となっていることから、令和元年度11月5日に滋賀県、近江鉄道沿線10市町、交通事業者、関係団体が一体となり、近江鉄道線の再生とそれに伴う公共交通網の再構築を目的として、地域公共交通の活性化および再生に関する法律に基づき、令和元年11月5日に近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会、いわゆる法定協議会が設置をされました。

今月、3月25日に開催されました法定協議会では、沿線住民アンケート、地域フォーラム、学校および事業所ヒアリング結果が公表され、約6割の人が移動手段としての必要性を認識されていること、また、鉄道廃止をして代替交通手段等をとると路線バスの整備や道路の渋滞対策費用が多額となる試

算が公表されました。鉄道を維持・存続する方が効果的とする分析結果が示され、会議では存続の意見が相次ぎ、全会一致をもちまして全線存続が決定をされました。今後、運営方法や財政負担などについて検討が続けられていくこととなります。

それでは、本日提案させていただきます2議案について、その概要を説明申し上げます。

議案第24号 令和元年度甲良町一般会計補正予算（第7号）につきましては、予算総額に231万2,000円を追加をいたし、補正後の予算総額を42億6,331万1,000円といたしたいものであります。補正額の231万2,000円については、児童福祉費の事業実績確定による補助金の返還を行うものであります。

議案第25号は、令和2年度甲良町一般会計予算で予算総額が40億8,100万円と定めたものであります。この予算は、昨年度、令和元年度当初予算の39億8,844万円に比べ金額で9,256万円、率で2.3%の増であります。参考までに、3月5日に提案しました令和2年度甲良町一般会計予算の41億24万円に比べ金額で1,924万円、率で0.47%の減であります。この減額につきましては、カーボンマネジメント強化事業、第2号事業、GIGAスクール構想、学校ICT環境整備事業、公民館2階多目的ホール空調改修事業につきまして事業費の見直しを行ったものであります。

以上の2議案につきまして、何とぞよろしくご審議をいただき、適切な議決をいただきますようお願い申し上げます、提案説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○**阪東議長** 次に、日程第3 議案第24号を議題とします。議案を朗読させます。

局長。

○**橋本事務局長** 議案第24号 令和元年度甲良町一般会計補正予算(第7号) 上記の議案を提出する。

令和2年3月30日。

甲良町長。

○**阪東議長** 本案に対する提案理由の説明を求めます。

総務課長。

○**中川総務課長** 議案第24号 令和元年度甲良町一般会計補正予算(第7号) を説明いたします。

予算書の裏面をお願いいたします。

歳入歳出の予算です。歳入歳出それぞれ231万2,000円を追加し、

歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ42億6,331万1,000円とするものであります。

次のページの第1表歳入歳出予算補正であります。

歳入の部で18款、繰入金、補正額231万2,000円、歳入合計が231万2,000円であります。

次のページをお願いします。

次、歳出であります。

3款、民生費、補正額231万2,000円で歳出合計が歳入合計と同額であります。

以上であります。よろしくをお願いします。

○**阪東議長** 説明が終わりましたので、質疑はありませんか。

西澤議員。

○**西澤議員** 27日の全協で説明があったのかと思いますけども、私は聞き逃したと思いますので、改めてご説明ください。

当初に定例会に出された予算書の16ページに補助金の返還が書かれています。新たに発生をしたのかどうか、16ページに補助金の返還がありますが、改めて説明をお願いします。金額が分かりましたら、なぜ発生しているのか。つまり、当初の補正予算を計上する段階からではなくて、今新しく分かったからこうなったと、改めて提示されたということでしょうか。

○**阪東議長** 教育次長。

○**福原教育次長** 実績に応じて額の確定に伴って返還が生じたものでございます。

○**阪東議長** 西澤議員。

○**西澤議員** そうすると、すみません、ページを間違いまして、15ページのところの児童手当、この措置費ですね。それで、実績に応じて返還が生じた。

○**阪東議長** 西澤議員、今、24号をやっているんです。

○**西澤議員** そうです、そうです。

定例会で示された予算のときには分からずに、今回新しく分かったのかどうかを聞いているんですけど。そういうことですね。

○**阪東議長** 教育次長。

○**福原教育次長** この返還につきましては、平成30年度の返還になります。昨年5月、6月には額が確定しておりまして、本来であれば9月の議会でも計上できたかなと思うんですが、そのときの計上ができおらず、県の方からの確定通知が届いたことによって今回の補正対応とさせていただきます。

○**阪東議長** ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

○**阪東議長** ないようですから、これで質疑を終わります。
討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○**阪東議長** ないようですから、これで討論を終わります。
これより議案第24号を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決することに賛成の方はご起立願います。

(賛成者起立)

○**阪東議長** 着席願います。賛成全員です。よって議案第24号は可決されました。

次に、日程第4 議案第25号を議題とします。議案を朗読させます。
局長。

○**橋本事務局長** 議案第25号 令和2年度甲良町一般会計予算。
上記の議案を提出する。
令和2年3月30日。
甲良町長。

○**阪東議長** 本案に対する提案理由の説明を求めます。
総務課長。

○**中川総務課長** 議案第25号 令和2年度甲良町一般会計予算を説明します。
予算書の裏面をお願いします。
まず、第1条です。歳入歳出それぞれ40億8,100万円と定めるものであります。

第2条の債務負担行為については、第2表で説明をいたします。

第3条の地方債については、第3表で説明をいたします。

第4条、一時借入金、一時借入金の最高額は6億円とするものであります。

第5条、歳入歳出予算の流用であります。これについては、給料、職員手当および共済費に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でこれらの経費の各項間の流用だけできるということであります。

次のページ、第1表、歳入歳出予算です。

歳入の部です。1款、町税8億5,306万8,000円。2款、地方譲与税3,568万8,000円。3款、利子割交付金60万円。4款、配当割交付金220万円。5款、株式等譲渡所得割交付金140万円。6款、法人事業税交付金279万7,000円。7款、地方消費税交付金1億3,100万円。8款、環境性能割交付金432万5,000円。

次のページをお願いします。

9款、地方特例交付金292万円、10款、地方交付税16億円です。11

款、交通安全対策特別交付金103万7,000円。12款、分担金及び負担金1,290万9,000円。13款、使用料及び手数料2,443万1,000円。14款、国庫支出金2億9,263万5,000円。15款、県支出金2億7,243万3,000円。

次のページです。

16款、財産収入1,846万3,000円。17款、寄付金6,010万円。18款、繰入金4億1,124万8,000円。19款、繰越金4,000万円。20款、諸収入9,574万6,000円。21款、町債2億1,800万円。歳入合計が40億8,100円です。

次のページをお願いします。

次、歳出です。

1款、議会費6,456万9,000円。2款、総務費7億5,368万1,000円。3款、民生費12億5,436万円。4款、衛生費2億9,348万2,000円。5款、労働費160万2,000円。6款、農林水産業費1億6,799万6,000円。7款、商工費2,907万6,000円。8款、土木費4億3,987万8,000円。9款、消防費1億4,463万3,000円。10款、教育費5億8,121万1,000円。

次のページです。

11款、災害復旧費2万5,000円。12款、公債費3億4,649万4,000円。13款、諸支出金29万3,000円。14款、予備費で370万円で、歳出合計が歳入合計と同額です。

次の第2表、債務負担行為のところであります。事項です。滋賀県信用保証協会小規模企業者小口簡易資金保証債務損失補償で期間が令和2年度から令和14年度までとするものです。

次に、公営住宅管理事業、弁護士業務委託であります。これは、令和2年度から令和6年度で限度額を122万円であります。

次に、県営犬上川地区土地改良事業負担金、これも令和2年度から令和4年度で限度額を4,285万円にするものです。

次に、農業振興地域整備計画作成業務委託、これは、令和2年度から令和3年度までで限度額1,200万円であります。

学校保健検査業務委託、期間が令和2年度から令和3年度で220万2,000円。甲良東小学校修学旅行事業、これが令和2年度から令和3年度で129万6,000円。次に、甲良西小学校修学旅行事業で令和2年度から令和3年度で64万8,000円です。

次のページをお願いします。

次に、第3表、地方債であります。

起債の目的です。臨時財政対策債、限度額が8,900万円。次に、公共事業等債です。これが1,140万円。次に、地方道路等整備事業債1,320万円。次に、公共事業等債で町道改良分であります、1,350万円。学校教育施設等整備事業債で単独分で2,640万円。学校教育施設等整備事業債で3,960万円。カーボンマネジメント強化事業債で690万円。次に、カーボンマネジメント強化事業債の民生債で1,800万円です。合計2億1,800万円です。

以上であります。よろしく申し上げます。

○**阪東議長** 説明が終わりましたので、質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○**阪東議長** ないようですから、これで質疑を終わります。

お諮りします。

ただいま議題となっております議案第25号については、会議規則第39条第1項の規定により、お手元に配布している議案付託表のとおり予算決算常任委員会に付託したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**阪東議長** 異議なしと認めます。

よって、そのように決定しました。

ここでしばらく休憩します。

休憩中に予算決算常任委員会の開催をお願いします。

(午前10時05分 休憩)

(午後 2時00分 再開)

○**阪東議長** 休憩前に引き続き再開します。

日程第4、議案第25号を議題とします。

本議案については、予算決算常任委員会に付託され、その審査報告書が提出されております。これより予算決算常任委員会の報告を求めます。

宮崎委員長。

○**宮崎予算決算常任委員会委員長** それでは、予算決算委員長報告をいたします。

令和2年3月30日、甲良町議会議長、阪東佐智男様。

予算決算常任委員会委員長、宮崎光一。

予算決算常任委員会審査報告書。

本委員会に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

1、審査結果。

議案第25号 令和2年度甲良町一般会計予算。原案否決でございます。

2、審査経過。

議案第25号 令和2年度甲良町一般会計予算。社会福祉費の設計委託、庁舎改修工事において、カーボンマネジメント強化事業の保健福祉センターの給湯施設の入替工事について、4台中1台の故障は、経年劣化か、ほかに理由があるのかとの問いに、経年劣化であるとのことであった。

同じく保健福祉センターの照明設備のLED化工事について、1階は50台で921万4,000円、2階は156台で920万4,000円であり、1台当たりの単価が違うがなぜかとの問いに、現状の機器を替えるため、大小あり能力も違う。また、1階は風呂やプールの特種な機器のため金額が違うとのことであった。

カーボンマネジメント強化事業以外にCO₂削減の取り組みを考えているのか、ごみの削減なども考えられるがとの問いに、この事業は、令和2年度で採択事業が終了し施設整備が終了するが、引き続き2030年に40%のCO₂削減に向けて日常の取り組みを進め、温暖化対策に取り組みたいとのことであった。

2030年に削減目標に達しなかったときのペナルティはとの問いに、40%削減に向けて努力義務であるとのことであった。

教育施設整備費のシステム整備業務委託と施設備品購入のタブレット購入について、「GIGAスクール構想の実現ロードマップ」にある、1人1台の端末から個人の教育データを収集し、分析し、一人一人にフィードバックするとあるが、国の3クラスに1クラス分の端末を整備する考えから、矛盾があるがどう考えるかとの問いに、運用段階に入っていないため詳細は説明できない。考えられるのは、授業終了後に教師がデータを取り出し集約していく方法であるとのことであった。

個人IDとパスワードを使えば1つの端末を複数で使用することは可能であると考えられるがとの問いに、可能であるとのことであった。

タブレットの管理はどうするのかとの問いに検討委員会で決定していくとのことであった。

備品は管理が不十分だと故障ではなく紛失で減少していく可能性があるもので、鍵つきロッカーに保管し管理体制をしっかりと行うべきだとの意見があった。

タブレットの単価が7万5,000円から4万5,000円に減額になった原因はとの問いに、当初は、容量に耐える性能の機器を複数見積もりで行い単価を計上した。しかし、国と県の動向により4万5,000円でもGIGAの対応が可能となったため減額したとのことであった。

大規模改修の考え方について、財政が厳しいなかどこまでやっていくべきかとの問いに、故障しているものについては、補助事業に乗せるなどの対応をし、個別施設計画で長寿命化を図り、施設ごとの計画については令和2年度に策定するとのことであった。

財政調整基金が1,831万9,000円減額である。中期の財政見通しや課題などを作成し議会にも示すべきだとの問いに、財政健全化計画を6月議会に提出予定であり認識を共有したいとのことであった。

そのほかにもいろいろ質疑、指摘があった。

以上でございます。

○**阪東議長** 予算決算常任委員長の審査報告が終わりました。

ただいまの委員長報告に対して質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○**阪東議長** ないようですから、これで質疑を終わります。

それでは、議案第25号の討論、採決の前に、建部議員から、令和2年度甲良町一般会計予算に対する修正案が提出されていますので、これを議題とします。

発議第8号について、建部議員から提案説明を求めます。建部議員。

○**建部議員** それでは、議案第25号 令和2年度甲良町一般会計予算に対する修正案を提出いたします。内容についてご説明を申し上げます。

まず、今回、40億8,100万円の予算を、40億6,057万9,000円の2,042万1,000円の減額修正であります。内容と理由の説明を申し上げます。

まず、財産管理費のうち、役場庁舎の改修工事につきましては209万円の減額でございました。率にして10%でございます。

続いて、保健福祉センターの庁舎改修工事も638万円、10%の減額であります。これは、いずれもカーボンであります。そして、教育施設の整備費でシステムの整備委託、これは、ネットワーク、無線LANの整備でございますが、691万8,000円。これも10%の減額でございます。その理由は、設計見積額の精査、見直し検討をすることによって十分可能でありますし、また、入札の範囲、入札残の想定から10%の減額は十分可能であるという判断でございます。

次に、社会教育費の公民館費であります。この公民館の空調設備につきましては、従前いろいろと議会でも議論がありました。今回、503万3,000円の減額でございますが、これは、25%の減額であります。その内容の理由につきましては、まず、設計内容の見直しと精査をすることによって、また、工事内容の一部無駄な工事を取り除くということで、一部

工事の削減をすることによって25%の節減は可能であります。以上のような理由でもって、今回、2,042万1,000円の減額修正をお願いするものでございます。皆様方のご賛同をひとつよろしくお願い申し上げます。

○**阪東議長** 説明が終わりましたので質疑はありませんか。

○**西澤議員** 大變的を得た修正案を提出いただきましてありがとうございます。

それで、2点お尋ねします。1つは、町側が提出をした当初予算との比較で、一覧表にもありますように、1,924万円の減となっています。今回、建部議員提出の修正予算については2,042万1,000円の減額と。それで、23日に否決となりました予算との比較で言えば、3,966万1,000円の減額になるわけですけども、その金額に間違いがないかどうか1つです。

それから、こういう減額になりまして、財政調整基金を比べますと、財政調整基金の取り崩し、町側の当初から比べますと1,831万9,000円が減になっていますし、それから、修正案はさらに772万1,000円となっています。合計で2,604万円の取り崩しを必要としなくなったという金額です。ここから考えますと、付帯決議にも案に出されていますが、今の町民の状況、とりわけコロナウイルスに関連をする町民の疲弊ですね、とりわけ小売業や、それから、関連をして建設業もそうです、それから部品の、中国からの調達が入らないところの製造業についても非常に苦慮をされて、倒産の憂き目というのが全国でも叫ばれています、危惧されています。こういう点からも、予算の範囲という点で考えますと、町が対応するというのは確かに僅かな金額になりますけども、そういう予算の組み直し、本日はこの範囲ですけども、今日が終了をして、もし修正案が可決をし付帯決議が可決をしたら、そういう予算の組み直し、つまり当初に提出された金額から3,000万円以上、それから、基金の取り崩しが少なくて済むということから、そういう対応も可能かというように提案者が考えるかどうか、お尋ねしておきます。よろしくお願ひします。

○**阪東議長** 建部議員。

○**建部議員** お答えをいたします。

まず、町の当初の予算の予定というか、当初予算案を提示してきた内容から、先日、修正案が出されて、今日、審議を行っているわけでございますが、その差額が1,924万円。そして、今日、私の提案による2,042万1,000円と、合わせて3,966万1,000円という金額については、そのとおりであります。そして財政調整基金が今回の修正によりまして772万1,000円という減額になったのも事実でありますし、その分の基金の繰り入れを出さなくても済むということになっております。

そして、この修正された後の予算の組み直し云々ですが、一応、この修正案が可決されましたら、あと、その修正を除く部分を一般会計予算で可決する、多分そういう運びになるんですが、一応修正された分の組替えは可能であるし、あえて組み替えたということの協議というか、議会の議決をするという必要は全くございません。ただ、修正案の可決された内容が、言わば組替えられるというか、予算書が書き換えられるという程度の修正になりますので、あえて、そのことによって議会に付する必要はないものと思います。

○**阪東議長** ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

○**阪東議長** ないようですから、これで質疑を終わります。

議案第25号および発議第8号について、併せて討論はありませんか。

西澤議員。

○**西澤議員** 議案25号と、先ほど提出されました修正案、共通する討論をさせていただきます。

原案に対しては、まず、カーボンマネジメント事業に関して、庁舎分が209万円の減、638万円の減、合計で847万円の減となり、GIGAスクールの推進に関して691万8,000円の減です。さらに公民館空調設備については503万3,000円の減となり、3部門の減額は、2,042万1,000円の減額となります。このうち、カーボンマネジメント事業に関して、町長の基本スタンス、これの矛盾を指摘しないわけにはいきません。庁舎と福祉センターのLED化で節約額は僅か年に130万円弱です。CO₂を削減すると言いますが、政府は、石炭火力発電所、これを十数基増設する計画であります。新ごみの処理場の計画は大型炉でありまして、連続運転の計画でごみ減量化とは反対の方向になってしまいます。

一方、町政が今重点的に取り組む必要があるのが、誰もが安心して住み続けられる施策の充実、とりわけ、若い世代がこの町で暮らし、子どもを産み育てる支援の充実であります。設備投資に多額の費用を投入する余裕はないはずですし、昨今のコロナウイルスの被害から考えますと、通常計画をうんと縮小ないしは抑えて、その部分に対応する予算が提出されてしかるべきもの、しかも、否決が23日、最終的に決まりました。その前に9日には委員会で賛成者の1人という形で否決になりました。そうしますと、予算の修正なりの協議が当局の方から持ち出されて普通です。修正の中身はコロナウイルス対策に重点を落とす、ないしはシフトをその中に入れていくという考え方が導入されてしかるべきだったと思いますが、3月5日前には3月3日に全協がありました。それでも、コロナウイルスに関する町民の不安や、それから、それに対応する学校は一律一斉休校が国の方から、安倍総理の方か

ら提起がありました。そういう点では混乱をしているわけです。そういう点では、町長のコメントの中に、この間、定例の会議、それから臨時の会議、そのときでもコロナウイルスの問題について一言も発言がありませんでした。これに対応する、そして、町民が苦慮をしている、心配をしている。確かに滋賀県内の感染は現在6名です。しかし、コロナウイルスの危険性は非常に、だんだん中身が分かってきて、若い世代は発症を表面上はしない。菌を保有しながら歩き回る、人と濃厚接触をする、こういう危険で、東京辺り、今、爆発的に増えています。そういうことから考えると、それに何らかの形で対応する、呼びかけだけではなくて予算処置で応援をする、そして注意喚起を図る、こういうことが絶対に必要だというように思うんです。

もう一つは、公民館空調設備です。これ、野瀬町長が、当初、初当選をされたとき、出馬をされてから、修理は緊急、重要な課題だということは十分認識されていたはずだったと思います。着任早々取り組まねばならない課題でありました。にもかかわらず、すぐには取りかからず、補助率の高い制度に乗り替えて、さらに高い事業総額を提案したかと思いきや、その説明は二転三転。わざわざ、極めて高額な工事で地元業者が受注できる代物ではないということが判明しまして、議会の総スキャンにあったのです。この後に及んでは、簡易な方法で、安価で、この夏に間に合わせることを最大限に考えて対応をしてほしかったと思っています。何よりも多くの町民がこの公民館の空調機の改修を、どういう形であれ、待ち望んでいます。

タブレットの導入については、修正案提出者が述べられましたとおり、3クラスに1つクラスの分の端末という考え方に沿って過大支出を避けねばなりません。加えて、基礎学力の向上、能力の発見は、小中学生においては、基本的な生活習慣の安定、家庭・地域の安定、格差の是正にあることを、教育行政においても、広くは町政全般においても位置づける必要があることを申し上げて、25号については反対討論、それから、修正案については賛成討論といたします。

○阪東議長 ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

○阪東議長 ないようですから、これで討論を終わります。

これより、発議第8号を採決します。修正案の方です。

お諮りします。ただいまの修正案のとおり決することに賛成の方はご起立願います。

(賛成者起立)

○阪東議長 ご着席願います。

起立多数です。

よって、発議第8号は可決されました。

次に、ただいま修正議決した部分を除く、議案第25号 令和2年度一般会計予算について採決します。

お諮りします。ただいま修正議決した部分を除く部分については、原案のとおり決することに賛成の方はご起立願います。

(賛成者起立)

○**阪東議長** ご着席願います。

起立全員です。

よって、修正議決した部分を除く部分は、原案のとおり可決されました。

次に、日程第5 発議第9号を議題とします。

議案を朗読させます。

局長。

○**橋本事務局長** 発議第9号 令和2年度甲良町一般会計予算の執行に関する付帯決議について。

会議規則第14条第1項および第2項の規定により提出します。

令和2年3月30日。

甲良町議会議長様。

提出者、甲良町議会議員、建部孝夫。賛成者、西澤伸明。

○**阪東議長** 発議第9号については、建部議員から提案説明を求めます。

建部議員。

○**建部議員** 令和2年度の甲良町一般会計予算の執行に関して、付帯決議をいたしたい。その提案内容を申し上げます。

令和2年度甲良町一般会計予算の執行に当たっては、次の事業について、見直しを含め検討を求めるものでございます。

1つ、カーボンマネジメント強化事業において、役場庁舎および保健福祉センター庁舎におけるLED照明導入について再検討をすること。その内容については、1つに、次期、次の大改修、役場にしても築50数年、保健福祉センターにしても築30年が経過しております。そのときの大改修まで、既設の照明器具、今ついている器具の修繕なり取替えによってまかなえないかということ。もう一つは、LEDの照明導入費用が非常に高い。三千数百万円、四千万円近くの費用がかかります。その費用をかけてまでという費用対効果を検証する必要があります。それだけのお金をかけてそれだけの効果が上がるかどうかということでございます。

大きい2つ目には、GIGAスクールにおいて国庫補助金が3分の2から2分の1という部分も削減がありました。それに伴って計画の見直しを検討することでございます。その1つ。整備の年次計画があります。これは、4

年間におけるネットワーク整備や端末導入対象学年等があるんですが、国が示すロードマップというのが、今日、皆様方にも資料を見ていただきましたが、赤、青、カラーで印刷した内容が出ております。そのロードマップどおりに設定をしなければいけないのか。甲良町の財政事情、甲良町の事情に応じて計画が策定できないのかということ。

もう一つは、国は3クラスに1クラス分の端末を整備するということが明記されております。すなわち、1日1から2コマ、これは、1時限から2時限、要するに、小・中学校5時限ないし6時限という、そういう枠で授業が進められておりますが、1日にタブレット端末を使う時間というのは1時限、2時限でいいと。その残った4時限なり5時限はほかのクラスが使ってもいい。要するに、その3クラスに1クラス分の端末を整備することによって効果的に、また合理的に運用されれば、全ての子ども一人一人にその端末が使えるということに、経費の節減につながるわけでございます。

3つ目には、ネットワークの無線LAN整備ですが、これは、今4Gと言われてはいますが、5Gが対応できる、そういう設備にすべきではないかということもGIGAスクールにおいては十分な検討をして執行に当たってもらい。

最後に、予算の執行は、無駄を省き余計な経費は使わず節減に努めることは、これは、常識、もちろんな話でございます。昨今の新型コロナウイルス対策の一環として、町民の暮らし支援策等を早急に講じることを強く求めて、以上、決議します。

令和2年3月30日。

甲良町議会。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○**阪東議長** 説明が終わりましたので、質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○**阪東議長** ないようですから、これで質疑を終わります。

討論はありませんか。

西澤議員。

○**西澤議員** 11番、西澤です。

先ほども申し上げましたが、今最大のコロナウイルスの問題で滋賀県がまだまだという気持ちはあるかと思えますけども、いずれは、抗体がない、それから対応する薬がないという点から見ますと大変危険な状況です。いささかも油断することができません。報道を見ていますと、発症をしない若者たち、もちろん60代がいますと思えますけども、子どもたちも発症をしない、つまり、保菌をしながら歩き回る、いろんなところに出かける、そして、菌

を振りまく、この危険性が大変指摘をされてまいりました。逆に、手洗い、うがいを励行すれば十分に防げることも明らかになり、コロナウイルスの菌の周りには油膜が張られていて、石鹼が大変有効、つまり、中性洗剤でもそうですけれども、それでコロナウイルスが洗い流される、死滅される、このことも分かってきました。

そして、感染をする状況についても、科学の進歩で非常に早く情報が提供されて行き渡るようになりました。そういう点から見ると、終息をされる見通し、私が申し上げることはできませんけども、世界の英知で人類の英知で終息させていかねばならない、こういう状況になっています。

それで、町政が対応するのは、町民の営業、とりわけ個人商店さんですね、食べ物商店なんかは本当にもうがらんがらんで、そこに納入されている、ある肉屋さんですけども、本当に全部キャンセルになってしまう。つまり、納入がない状況です。ですから、ここを乗り越える上で、町の財政力を、全部を投入するというにはもちろんならんと思います。しかし、その手当、どういう手当が必要なのかという点では十分考えられるところであります。

残念ながら、3月3日に全協が始まってありましたが、町長の方からそのことに触れる発言は一切なかった点で、私は大変残念に思っているところがあります。そういう点では、幾つかの市町で、僅かでありますけども、町独自の、市独自の予算が、制度が組まれているところが報道がありました、数少ないですけども。そういう対応をぜひ求めていく必要があると思います。

付帯決議で言えば、最後のところで、今回、修正案が可決をして、その内容で原案になりました。この予算が削減された分、十分に使い、そういうところに回していけるというので、早急に対応をして、臨時議会を開くなり、6月議会では間に合わんと思いますけども、そういう点での対応がぜひ必要だというように思います。

LEDについては付帯決議にあるとおりです。本当に高い金額になっています。もちろん、これ、3,557万2,000円です。後回しに十分できる、提案者がありましたように、通常の修理で対応する。こういう非常時だから、お金の使い方をどこに向けるのかという、町長ならびに幹部職員の皆さんがそこにぜひ注目をして予算編成に当たってもらいたい。そのことが付帯決議にも盛り込まれていますし、その精神が入っているという点を評価をしたいと思います。

最後に、付帯決議は確かに法的な拘束力はありません。しかし、3月議会でも、介護保険料を引き下げてほしい、この願いにこたえて決議がされました。そしてまた、運動公園の使用規則の、子どもたちの少年野球など、そういうところにも配慮し減免することを求められる、これも決議で上がりまし

た。この予算は町の全体の顔を示す予算ですから、そういう点では、この決議を、ぜひとも、議員の皆さんの賛同を得て可決をして議会の意思を示す、このことが大事だということを申し上げて、賛成討論とさせていただきます。

○**阪東議長** ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

○**阪東議長** ないようですから、これで討論を終わります。

これより、発議第9号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方はご起立願います。

(賛成者起立)

○**阪東議長** ご着席ください。

起立多数です。よって、発議第9号は可決されました。

以上で本日の日程は全て終了しました。

最後に町長の挨拶があります。

町長。

○**野瀬町長** 令和2年、第2回臨時議会の閉会に当たりまして、挨拶を申し上げます。

まず、議案第24号 令和元年度甲良町一般会計補正予算(第7号)につきまして、原案のとおり可決をいただきありがとうございました。

議案第25号 令和2年度甲良町一般会計予算につきましては、議員提案の修正案をもって可決をいただき、また、修正以外の予算につきましては、本職から提案をいたしました議案第25号の令和2年度甲良町一般会計予算を可決をいただき、大変ありがとうございました。

4月からの新年度を目前にいたしまして予算可決をいただきましたこと、深くお礼を申し上げます。ご審議、ご審査いただきました諸点につきましては、予算執行面におきまして、予算内における最小経費で行政効果が上がるよう工夫してまいり所存であります。当初から申し上げておりましたとおり、本町の財政の見通しは極めて厳しいものがあり、新年度は総合計画や創生ビジョンの策定年ではありますが、まず、財政健全化計画策定を最優先とし、議員の皆様にごその内容をお示しし新たな行政改革に取り組まなければならないと思っております。財政健全化計画策定までに、本町を取巻く財政状況についてをテーマとした議会全員協議会をぜひお願いしたいと考えておるところでございます。

3月初めの3月定例会から、本日の臨時議会まで、長期間にわたりまして格別のご審議をいただきましたことにつきまして、重ねて御礼を申し上げる次第であります。議員の皆様におかれましては、健康にご留意をいただき、

議員活動にご精励をいただきますようご祈念申し上げ、臨時議会閉会に当た
りましてのご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

○**阪東議長** これをもって、令和2年第2回甲良町議会臨時会を閉会します。
ご苦労様でした。

(午後 2時40分 閉会)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

甲良町議会議長 阪 東 佐智男

署 名 議 員 建 部 孝 夫

署 名 議 員 大 町 善士雄